

『東日本大震災復興宣伝観光キャンペーンin台湾』を実施して

岩手県盛岡市商工観光部観光課副主幹 高橋 元一

誰もが予想しなかった千年に一度と言われる2011年3月の東日本大震災は、太平洋側に押し寄せた津波の影響や、原発事故の風評被害などにより、岩手県への観光客の入込みが停滞し観光産業はじめ各業界に深刻な影響が生じております。

特に、岩手県における外国人観光客の多くを占める台湾観光客の入込みは停止状態となり、宿泊業者をはじめ観光関係者からその対応が強く求められておりました。

台湾からは、今回の大震災の被災地に対して、世界最大の義援金が寄せられ、さらに盛岡さんさ踊りへも芸能舞踊団の応援出演をいただくなど、物心両面にわたり多くの支援をいただいております。このことに感謝の意を伝え、台湾と盛岡市・岩手県の絆を深め交流を促進することが大切と考えていたところでした。

■ ■ 盛岡・岩手は元気です！

このような状況の中で、9月16日～19日の間、いわて花巻空港発着の台湾チャーター便が就航されることを機に、盛岡・岩手は、東日本大震災にも負けず元気であり、安心して観光ができることをPRして、観光誘客促進につなげることを目的に、(財)自治体国際化協会から海外経済活動支援特別対策事業の助成を受けて、盛岡市長を団長に、商工会議所等関係者による観光客誘客キャンペーン訪問団を派遣しました。

今回の台湾観光誘客トップセールスの実施におきましては、盛岡周辺は被害が無く観光面も十分に対応できることを台湾政府観光機関、航空会社、旅行代理店などにPRいたしました。台湾側からは「大震災からの復旧・復興には協力は惜しまない。観光にも出かけたが、原発事故による放射能が大きな関心事で、この問題が解消されていな



商談会での「盛岡さんさ踊り」披露



商談会の様子

いことが障害となっている。」とのことでした。そこで、訪問団による商談会では、「放射能線量」調査結果を配布物に加え、盛岡市の放射能は低い数値であり、安心して観光ができることを説明しました。

また、国立國父紀念館の正面入り口回廊において「震災実録写真ポスター展&“岩手”は元気です！」キャンペーンを実施しましたところ、当施設には国内外から終日多くの観光客が訪れており、当キャンペーンにも多くの人々が足を止め、ポスター展を見ていただきました。さらに、ミスさんさ踊り太鼓連による「盛岡さんさ踊り」の公演は、多くの人垣ができ、記念撮影のリクエストが続くなど、注目度も高く、観光パンフレットも効果的に配布でき、盛岡・岩手の存在をアピールできました。

■ ■ 正しい情報を発信

何れにしましても、東日本大震災の影響、特に原発事故による風評被害は、観光客入込みに大きな影響を及ぼしていることを、現地商談会、交流会を通じて実感したことから、今後において、正しくデーターを示しながら台湾の政府関係者、旅行関係者を通じ、台湾国民にご理解いただくことが大切と感じたところです。